

2025年度 発達支援つむぎ 百目木ルーム スタッフアンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。スタッフアンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大四点)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.0	
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.4	併設園である利点を活かしながら休憩時間の調整を行い、全員が休憩を適切に取ることができ、安心して働くことができる環境設定に努めてまいります。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.2	今年度実施した事業所のアンケートを元に次年度のプログラムや保護者交流イベントなど活動の立案をスタッフと行ってまいります。
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.0	併設する保育園と共に行う全体会議だけでなく、事業所内での研修の機会やケース会議の機会を確保し、スタッフの資質向上に努めてまいります。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		休憩時間の確保などスタッフ一人ひとりが働きやすい環境づくりに努めて参ります。また土曜日の午後の時間を活用し、お子さまのケース会議や研修の機会を定期的に設け、支援の質の向上を図ってまいります。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもや保護者、訪問先施設のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.8	アセスメント後、一人ひとりのケースを話し合う時間をしっかりと設け、お子さまの発達がどの段階にあるかしっかりと見極め、課題設定を行いお子さま、保護者様のニーズに則した個別支援計画書の作成に努めてまいります。
	Q8	支援の内容は、支援目標に沿ったものになっているか。	3.4	個々の支援目標に沿った活動がなされているか意識しながらプログラムを計画、実施できるように努めてまいります。
	Q9	支援の開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.0	朝礼にて日々の情報共有や、お子さまのご様子によっては連携を図り、対応できるようそれぞれの担当や動きをしっかりと確認してまいります。
	Q10	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.2	毎日の振り返りや、ケース検討、事務連絡などをしっかりと行き、支援の質の向上につなげてまいります。
	Q11	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができるか。	3.6	定期的にモニタリングを実施し、適用期間内に個別支援計画が提示できるように今後とも努めてまいります。
	Q12	各事業のガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)あるいは保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」を踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3.0	事業所における支援プログラムを元に、どのような支援が自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流や余暇の提供にあたるのかをスタッフ間で共有してまいります。また、併設する保育園と連携し保育・支援のプログラムを立案し質の高い支援の提供を目指してまいります。
	Q13	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		※コメントを確認の上、改善策を入力(必須)
関係機関や保護者様との連携について	Q14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.4	振り返りの際、保護者様との間で、お子さまの様子や成長を丁寧にお伝えすることを心掛けてまいります。また、モニタリングの機会だけでなく「家庭支援加算」などを制度を活用し、園や家庭でのお子さまの状況共有する機会を設けてまいります。
	Q15	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.4	関係機関連携加算の制度を利用し、所属園との連携を提案してまいります。電話での情報共有だけでなく、所属の幼稚園に伺いお子さまの集団で過ごす様子から事業所での支援方針の策定をし支援の統一を図ってまいります。
	Q16	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、あるいは就園・就学時の移行などの際には、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.6	就学支援シートという形、もしくは利用されているお子さまが就学される学校と電話での共有などに努めています。安心して就学できる環境を整えてまいります。
	Q17	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.2	地域の相談事業所や児童発達支援センターなどと連携を行い、保護者のニーズに合わせ相談先の助言が行える体制を整備してまいります。
	Q18	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.0	市内、近隣市の子ども部会などへの参加を積極的におこなえるように努めています。
	Q19	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	3.8	お子さまひとり一人の発達に応じた環境を併設する保育園と共に話し合い考え方、子ども同士が関わる機会を創ってまいります。
	Q20	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.4	受け入れ時や保護者の様子から、こまめにお話を伺い、ご自宅での様子やお子さまへの対応の様子を見させていただき、その都度適切なアドバイスができるように努めています。
保護者様やお子様などに子つさないへの	Q21	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		お子さまが利用されている児童発達支援事業所・相談支援事業所・幼稚園・保育園との小まめな連携を図り、お子さまの今の発達や課題に応じた支援方針や環境を考え、支援してまいります。
	Q22	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.8	安心してご利用いただけるように、丁寧にわかりやすいご説明を心掛けます。
	Q23	保護者や訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.6	都度、保護者様のご相談に応じています。場合によっては「家庭支援」の制度を利用し、面談を実施しております。
	Q24	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.6	ご意見を頂いた際は、早急にスタッフ間で共有し、真摯に対応させていただきます。
満足度について	Q25	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		保護者様同士のつながりが持てる保護者交流会や、「家庭支援」などの制度を活用し、安心して相談できる環境をつくってまいります。
	Q26	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感があるか。	3.6	子どもたちの成長を感じる場面やエピソードをスタッフ間で共有し、インクルーシブな環境を通してのお子さまの成長や変化を実感できるよう努めています。
	Q27	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		今後も併設する保育園と連携し、インクルーシブ保育における子どもの成長に目を向け、より良い支援を行えるようスタッフ間の話し合いの場を設けてまいります。

アンケート実施期間:2025年8月20日～9月5日
回答数 : 5

発達支援つむぎ 百目木ルーム
施設長 横原 里紗